

2022.10.3



0歳児担当 松岡 美咲



生まれも育ちも町田の私が、都会の渋谷東しぜんの国こども園に赴任してきて、早いもので3年が経とうとしています。

私が子どもたちとまち歩きする中で好きな場所は、園からストリームまで続く川沿いの道です。歩道も広くて車通りも少ないので、ゆったりした気持ちで歩けます。

川をのぞきながら歩いてみると、こんな大都会でもサギがいたり亀が歩いていたり、ギョッとすることもあるのですが、そんな日は、なにかいいことある気がして、嬉しい気持ちになります。

みなさんは、お気づきでしたか？川沿いの柵の上の方に蜘蛛の巣が沢山はっているのですが、私たちの園の脇の芝生あたりの柵には蜘蛛の巣がありません。

それがなんでかな？と思っていたのですが、早番で朝早く出勤した時、いつも渋谷ブリッジのお掃除を担当している方が棒で一つ一つ蜘蛛の巣を取ってくれていたんです。お掃除担当の方は、子どもたちのためにこの通りのゴミ拾いを登園前の時間に合わせて行なってくれたりしています。

そのことに気づいた時、いつも私たちの見えない時間や見えない場所で、子どもたちのことを思って働いてくださっていることに感動し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

お散歩に出かける際には、朝早くから働かれていることなど感じさせないで、とても素敵な笑顔で「いってらっしゃい！今日も楽しんできてね！」と見送ってくださり、子どもたちの成長にも気づいて「歩けるようになったのね！」「みんな大きくなったわね！」と声をかけてくださいます。

渋谷というまちで、こんなふうに私たちを大切に思ってくださっている人たちに見守ってもらえている環境で子どもたちと過ごせること、とても幸せだと感じます。私の都会というイメージも大きく変わりました。

これからも地域の方々とのつながりやご縁を大切に子どもたちと新しい発見をしながら楽しくこの地で過ごしていきたいと思います。



small alley

10月の保育主題

『山々に響く はげましの声』

散歩など身体を使い、屋外に出ると秋の変化に気づく

社会福祉法人 東香会

保育理念 『いきいき』

合言葉 『すべて子ども中心』

基本保育方針

『私たちは、今ここで「こどものたからもの」を大切にします』

『地域で安心して子育てができるように！』

『子どもの成長、発達に寄与する人はすべて保育者』



もう10月ですね...今年は暑くなるのが早かったので夏が長そうとぼやいていたのが昨日のようです。9月は驚くほど早く終わってしまいました。きっとここから年末まではあっという間なんでしょうね。

10月にはこども美術館があります。例年、1週間という単位で行われていたこども美術館でしたが、今年は初の試みで土曜日1日のみの開催となります。なぜ1日になったかということ、子どもたちの思いがこもった作品の世界にもっと没入してもらいたいと思ったからです。子ども一人ひとりの頭の中を覗いているような感覚になれる空間をつくりあげたいと思っています。私たち保育者の精一杯の力で。そのため、10月29日（土）は午後からの開催となります。午前中はレイアウトや照明などの準備時間とさせていただきます。

美術館といえば、8月に京都で開催されていた「BRIAN ENO AMBIENT KYOTO」に行ってきました。一言でいうと最高！開催されていた建物と空間が私はとても好きで、開園から閉園まで1日中いたいと心の底から思いました。一番最初に行ったのが3階の「The Ship」というところ。入口のカーテンを開けるとまっ暗闇の中、音や人の声が聞こえて、自分が一体どこにいるのかわからなくなる、けれどここに私がいるという妙な感覚になりました。気がつけばThe Shipで1時間経過していました。その日は午後京都の友人と会うことになっていたの、他の部屋を慌ててまわることになり消化不良のままその場を離れなければならなかったことが心残りです。開催が終わる前にもう一度行きたかった...

後ろ髪をひかれながらも市バスで移動しつつ、美術館がつくりあげるあの空間の凄さをしみじみと感じ、こども美術館もこんなふうに世界観がつけれたらな～、もう少し鮮度をあげたいな、と思うのでした。精進します。またはどなたかアドバイスをください！

今月は9月に配布した「関係性の記録」で保育者が書いたエピソードを紹介したいと思います。

※関係性の記録とは ...あるがままのこどもの姿や見えない心の動きを観るための保育者による記録です。
1年間で2期に分けて、3～5歳児クラスの保護者の方に配布し、保育者と保護者の方と子どもの育ちを分かち合っています。

《「美味しいのかなって思った」》

食事の時、私の隣に座っていたEさんは「ねぇひろかさん見ててね！」とご飯を一口食べました。私は突然のことで驚き、嬉しくなって思わず大きな声で「え、すごい！食べれるようになったの！？」と言うと、「前までは嫌いだったんだけど、ちょっとずつ食べたらね美味しいなって思ったんだ。ちょっとだけだけど」とご飯を見つめながら言います。私は「なんでちょっとずつ食べてみようって思ったの？」と聞くと「みんなの食べてるの見て、美味しいのかなって思った」と私の目を真っ直ぐ見つめて話すEさん。私が「みんなどんな顔してたの？」と尋ねると「うーん、分かんないけど楽しい感じ！」と笑顔で話しながらご飯を食べ進めました。Eさんの言葉を聞き、誰かにご飯を食べる良さを改めて感じました。

Eさんがよくランチを共にしているお友だちは「ちょっと食べてみる」と苦手な食材に挑戦しています。Eさんは、一喜一憂しながら食べるお友だちの姿を見て『美味しいのかもしれない』と少しずつ心が動いていたのかもしれませんが。最初にほんのちょっと気持ちが変わっていき、それがだんだんと積み重なって『食べてみようかな』と変わったのだと思います。こども園生活の中では他の人のさまざまな思いと感情に出会います。その中で自分が思いがけず変わっていく経験を通して、Eさんはまた新たな自分や世界と出会っていくでしょう。

記：佐藤優花

苦手なものを食べてみようと思ったきっかけがみんなの“楽しい感じ”ってすごいですよね。一緒に食べる人の顔が見えて、声が聞こえて、その場の空気を感じて、気持ちが動く、なんて豊かな情動だろうと思いました。保育や子育ての参考書では語ることのできない育ちだな～とつくづく思いました。子どもたちからはいつも人間の本質について考えさせられます。大人は固定概念やyesかnoで様々なことを判断しがちですが、子どもはもっと柔軟なんですよ。

10月のスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10 体育の日	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

お知らせ
0歳児乳児健診 9：30～

こども美術館 15：00からの開催を予定しています。
こども美術館は親子で展示を見て頂いたり保護者の方にワークショップに参加して頂く祭典です。
お仕事や習い事のご調整をお願い致します。詳しい内容は別途お知らせいたします。

－ 看護師より －

0歳児乳児健診
9：30～
つぼみ組の皆さんは当日なるべくお休みされないようご協力お願いします。

9月の感染症
新型コロナウイルス感染症 2名
手足口病 2名
ヘルパンギーナ 2名
ロタウイルス 1名
嘔吐・下痢 4名

－ キッチンより －

暑さもだいぶ落ち着き、過ごしやすい日々がやってきました。
「読書の秋」、「スポーツの秋」、「食欲の秋」とわくわくしてしまう季節です。
今月はこの時期にしか味わえない秋のメニューを予定しています。
きのこの炊き込みごはん、具だくさんの豚汁、やきいもなど旬のものをたくさん使用した献立が登場します。

収穫祭のメニューでは、けやき組は毎年恒例のさんま丸々1本の塩焼きを食べます！
また、今年の2月にけやき組さんが仕込んだ味噌を使用した豚汁も提供予定です。

美味しいものがたくさん実る秋の旬の食材を食べて元気な体をつくっていきましょう！